



竹富島 暮らし通信



高齢者が安心して住み続けるための活動が始まりました。この活動では住民一人ひとりが
 智恵を出し合い、支え合い、いつまでも安心と希望をもって暮らし続けられる地域づくりを
 めざしています。「通信」は情報を共有するため、毎月の月例会で配布します。

共に活動、
 懐かしく。

10月23日に、ほほえみの会とデイサービスさんとの交流会が開催されました。ほほえみの会を立ち上げ、現在デイサービスさんを利用して、小底政子さんは、思いが実現して嬉しかった。えっちゃんたちと一緒に活動できて懐かしかった。またやりたい」と感想を語っていました。

ほほえみの会とデイサービスさんの交流会は、老人会長野原吉雄さんの発案。新しくできたゆくい処の活動や施設を知ろうという配慮からでした。ほほえみの会の新田初子さんと、デイサービスさんの高橋裕子さんが合同で企画し実現にいたしました。



当日は、竹富交通の協力を得て、ほほえみの会のメンバーはゆくい処へ車で移動。いつものコミュニティセンターとは違った雰囲気、遠足気分も楽しめたようです。ゆくい処に到着してからは、うたやおしゃべりで盛り上がり、デイサービスさんの利用者も、交流を懐かしみ、再会に笑顔あふれるひと時を過ごしました。

アンケートでは、
 一緒に活動したい

65歳以上の方に協力いただいた『高齢者の医療・介護に関するアンケート』では、ほほえみの会、デイサービスさんなどの活動について、「一緒に活動したい」、「一緒に活動したいが、迷惑になるので仕方がない」、「同年生と別々の活動になつた」など、一緒に活動したい思いが語られていました。新田さんや高橋さんも、参加者の反応に「これからも交流したい」と次回に向けての意気込みを語られていました。



古謡教室の開催にむけて
皆さんのご意見をお聞かせ下さい。
アンケートにご協力をお願いします。

竹富島の種取祭、てーどうんムニ大会など、島の伝統を引き継ぐさまざまな行事・祭事は、島の子どもたちに、竹富島で継承してきた文化の価値を教えています。島の子どもたちが受け継ぎたいと願っている竹富島のさまざまな芸能と一緒に残していきたいませんか？

今回は、生活の中で触れる機会が無くなりつつある古謡が、身近な存在になるために、**竹富島の古謡愛好会を先導し、竹富町芸能保存会会長を歴任した前本隆一氏を講師とする古謡教室の開催を企画しています！**

「古謡のうたわれた歴史的背景」

「古謡の日本語訳」

「おぼえかた」に至るまで、解説します

前本さんがもてる知識と知恵を提供する貴重な時間です。古謡に興味のある方のご参加をお待ちしております。参加のご希望は、月例会のアンケートで教えてください。

住民会議

愛称募集

竹富島で高齢者が安心して暮らし続けるために、住民会議活動を発足しました。

住民会議では、これからも、高齢者の暮らしに役立つ様々な取り組みに挑戦していきたいと考えています。

この活動が、竹富島のみなさんに浸透することを期待し、住民会議の愛称を募集します。

ぜひ、住民会議にてーどうんらしい愛称をつけてください。

月例会で配布する古謡に関するアンケートの中で、愛称を募集します。重ねて、ご協力をよろしくお願いします。



竹富島くらし通信、ならびに竹富島住民会議に関する質問、お問い合わせは下記までお願いします。

竹富島住民会議事務局 田場由紀

〒901-0076 那覇市与儀1-24-1 沖縄県立看護大学

電話：098-833-8883(直通)

